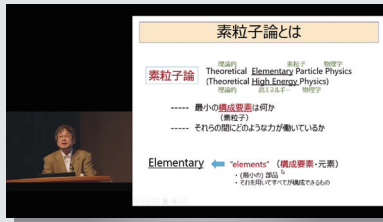
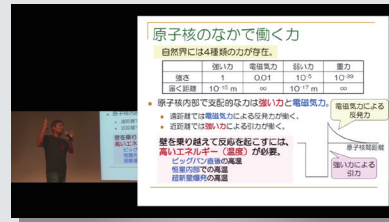


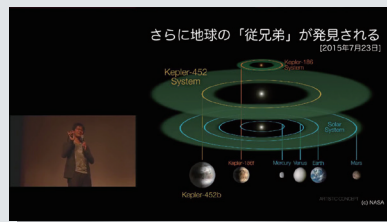
2018年度
京大3.8mせいめい望遠鏡
～日本初の分割望遠鏡に迫る～
栗田 光樹夫(理学研究科准教授)



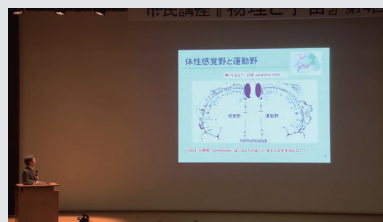
2018年度
素粒子論の未解決問題「重力の量子化」とは何か
福岡 将文(理学研究科准教授)



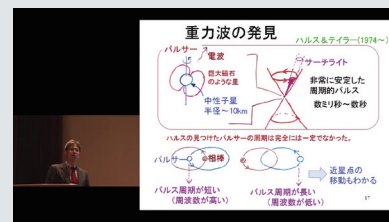
2017年度
原子核と元素合成の秘密
川畑 貴裕(理学研究科准教授)



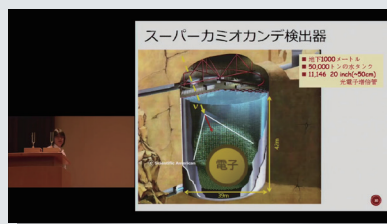
2017年度
系外惑星に「第二の地球」を探す
佐々木 貴教(理学研究科助教)



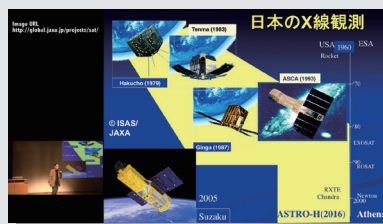
2016年度
脳の計算原理を探る
篠本 滋(理学研究科准教授)



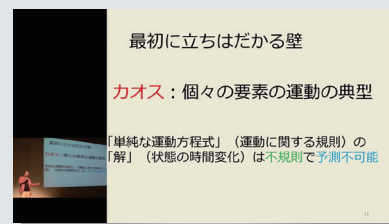
2016年度
重力波直接検出の意味
田中 貴浩(理学研究科教授)



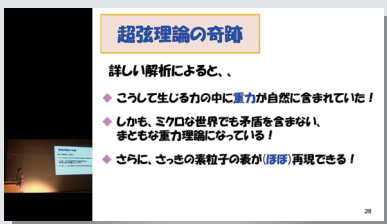
2016年度
ニュートリノ振動で探る物質と反物質の対称性の破れ
市川 温子(理学研究科准教授)



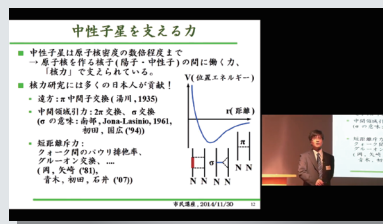
2015年度
ブラックホールを見つける
上田 佳宏(理学研究科准教授)



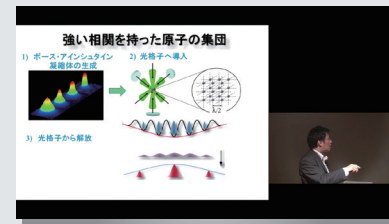
2015年度
秩序創発へのマイクロからの挑戦
佐々 真一(理学研究科教授)



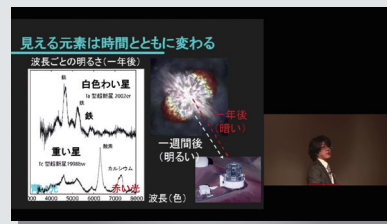
2015年度
超弦理論の奇跡
杉本 茂樹(基礎物理学研究所教授)



2014年度
中性子星を支える力
大西 明(基礎物理学研究所教授)



2014年度
冷えた原子でつくる新しい物質の状態
高橋 義朗(理学研究科教授)



2014年度
元素の起源を探る
前田 啓一(理学研究科准教授)

2013年度

「多様な超伝導状態:新奇超伝導の最前線」石田 憲二(理学研究科教授)、「ヒッグス粒子を見つける方法」石野 雅也(理学研究科准教授)

※市民講座「物理と宇宙」は、21世紀COEプログラム「物理学の多様性と普遍性の探究拠点」(2003-2007年度)とグローバルCOEプログラム「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」(2008-2012年度)の主催で10回にわたり開催してきた市民講座の後を引き継ぐものです。以下2004-2009年度の市民講座の映像もご覧いただけます。

2004-2009年度

- 第2回 市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る～物理学最前線～」特集テーマ「量子的世界」, 2004
- 第3回 市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る～物理学最前線～」特集テーマ「極限状態を見る」, 2005
- 第4回 市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る～物理学最前線～」特集テーマ「非平衡の世界」, 2006
- 第5回 市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る～物理学最前線～」特集テーマ「物理学のこれから」, 2007
- 第1回 市民講座「宇宙と物質の謎に迫る」, 2008
- 第2回 市民講座「宇宙と物質の謎に迫る」, 2009